

広い視野で就職を考えるため、 民間企業と市役所のインターンシップに参加

参加のきっかけ：

大学の専攻科目や自分の興味から具体的な業種を絞り、就職したい企業を決めたいと考えていましたが、具体的にどうしたらいいかわからず、インターンシップのセミナーに参加しました。その後ジョブカフェいわてで相談をして、インターンシップに参加して実際の業務内容や職場の雰囲気を見て、自分の就職活動の参考にしたいと思うようになりました。就職活動をした先輩方からも「インターンは行って見たほうがよい」とのアドバイスをいただいたことも後押しとなりました。

参加してみて：

率直な感想として、大学生活と違い朝早く起きなければならなかったことや、低いヒールを履いていったもののずっと足が痛かったことが大変でした。インターンシップは対面で参加し、北日本朝日航洋では測量機器を用いた測量実習など多くの実習を体験できました。測量は特に楽しみにしていたことでした。大船渡市は私が高校時代を過ごした所で、その時参加した「夢海公園整備事業」のワークショップのその後のお話を市役所では聞くことができました。勉強不足のまま参加してしまい、インターンシップで必要な能力が自分に足りていないと痛感しました。職場の雰囲気や詳しい業務内容、必要なスキルなど実際参加しなければ得られなかったであろう情報を得ることができ、少し自信になりました。「就職した後も常に勉強」との言葉は両方の担当者からお聞きして、仕事に対するイメージが変わりました。学生生活を離れての企業での就業体験はとても勇気が要るのですが、でも実際に体験してみることで、さまざまな学びを得ることができるのでお勧めです。

voice:
サポートデスク
スタッフから

遠藤さんは大学院に進学し、研究を継続した上で就職を考えていました。今回のインターンシップ先の企業について話し合ったところ、専門分野にこだわらず職業観や仕事観を広げたいという希望もあり、測量などをする民間企業と地元の市役所という大きく異なる業種で3日間ずつの就業体験となりました。異なる業種での体験でしたが、働くうえでの共通点も多く、今後の就職活動には大変有意義な6日間になったと思います。「この体験をベースに、新たなインターンシップに挑戦したり、説明会や面接などに生かしたい」と遠藤さん。体験を糧にさらに充実した大学生活、就職活動をすすめていってください。

＼体験したのは！

遠藤 京香さん（陸前高田市出身）
山形大学大学院理工学研究科
理学専攻 博士前期課程 1年

防災や地質を学びたいと理学部に進学。現在は岩石学の研究をしています。今のうちから就職先の選択肢を増やしておきたいと、県内のインターンシップに参加しました。

＼実施プログラム！

**最新技術で空間データを提供する民間会社と
被災地復興を担う地元市役所で公務を体験**

実習先：株式会社北日本朝日航洋（測量、コンサル業）

所在地：盛岡市門2-1-1

事業内容：測量調査、レーザ計測、自治体支援、防災支援業務、電力・農業土木コンサル

実施プログラム（3日間）の主な内容

- ・会社概要、社内ルール確認
- ・営業推進グループ、地理情報グループ、資産情報グループの業務内容の説明と実習

実習先：大船渡市役所

所在地：大船渡市盛町字宇津野沢15

事業内容：大船渡市内の道路関係補助及び起債事業、公共土木施設災害復旧事業、土砂災害防止などに関わるさまざまな事務業務をおこなう。

実施プログラム（3日間）の主な内容

- ・業務内容の説明、本庁舎案内
- ・建設課の業務内容の説明
- ・土木、業務、道路管理、用地補償の各係の業務説明と見学
- ・区画整理の講話
- ・住民説明会への同席